

時間	A会場 51 果樹 I	B会場 52 果樹 II	C会場 53 果樹 III	D会場 61 野菜 I	E会場 64 野菜 II	F会場 71 野菜 III
9:00	<p>マーカー・遺伝子解析 和田 雅人</p> <p>果 001 品種判別用 DNA マーカー型データから品種の親子関係を推定するためのソフトウェア MARCO の開発 ○藤井浩¹・山下浩之¹・保坂ふみ子¹・寺上伸吾¹・山本俊哉¹(農研機構果樹研)</p>	<p>ナシ I 田村 文男</p> <p>果 023 ニホンナシ成木における苗木の接ぎ木が水分及び同化産物の動態に及ぼす影響 ○須賀昭雄¹・島田智人¹・大庭恵美子¹・関達哉²・柴田健一郎²・瀬古澤由彦³・菅谷純子³・荻間洋³(¹埼玉農総研七園研,²神奈川農技セ,³筑波大院生命環境科学研究所)</p>	<p>ブドウ I 本杉 日野</p> <p>果 044 ブドウ園の通路表面への光反射特性を持つ遮水シート¹の敷設が、排水効率、土壌物理性および果実品質に及ぼす影響 ○浜名洋司¹・須川瞬¹(広島総研農技セ)</p>	<p>育種・品種(トマト) 一色 司郎</p> <p>野 001 養液栽培に適した多収性で糖度の高いトマト系統の育成における F₃ 世代からの選抜 ○松永啓¹・齋藤猛雄¹・斎藤新¹(農研機構野菜茶研)</p>	<p>養液栽培 I 鈴木 克己</p> <p>野 024 異なる光条件によって栽培されたミョウガ花らしい食味と香気成分の比較 ○野村祐介¹・池浦博美²・早田保義²・鈴木栄¹・野坂武司³・萩原勲¹(¹東京農工大院農学府,²明治大院農学部,³カネコ種苗(株))</p>	<p>育種・品種(イチゴ) I 曾根 一純</p> <p>野 047 イチゴの新品種「古都華」の育成とその特性 ○西本登志¹・岡岡*・前川寛之¹・後藤公美¹・東井君枝¹・泰松恒男¹・太矢博之¹・吉村あみ¹・平山喜彦¹・峯岸正好¹・佐野太郎¹・米田祥二¹(奈良農総セ,²奈良中央卸売市場,³奈良北部農振事務所,⁴白鳥イチゴ研究所,⁵奈良中部農振事務所)</p>
9:15	<p>果 002 ニホンナシ果実の糖組成に関する DNA マーカーの開発 ○板井章浩¹・入江洋希¹・畑中隆介¹・池田和生²・棚橋拓郎¹(¹鳥取大農学部,²山形大農学部)</p>	<p>果 024 樹体ジョイント仕立て専用「斜立育苗法」が定植後の生育および果実品質におよぼす影響 ○兼田朋子¹・柴田健一郎¹・関達哉²・曾根田友暁²・小林正伸²(神奈川農技セ,³東京農大農学部)</p>	<p>果 045 無電源自動換気装置を利用したブドウの簡易保温施設での省エネルギーの可能性 ○西川祐司¹・浜名洋司¹・須川瞬¹(広島総研農技セ)</p>	<p>野 002 高温条件におけるトマト黄化葉巻病抵抗性品種・素材の抵抗性評価 ○斎藤新¹・齋藤猛雄¹・松永啓¹(農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 025 エンゾワサビ植物体に含まれるグルコシノレートの同定 ○木戸重範¹・鈴木卓¹・鈴木正彦¹・前田智雄²(¹北大院農,²弘前大農)</p>	<p>野 048 四季成り性イチゴ新品種「栃木 25 号」の育成 植木正明¹・直井昌彦¹・小林泰弘¹(栃木農試いちご研究所)</p>
9:30	<p>果 003 マイクロアレイ解析による GA 誘導性ナシ果実肥大関連遺伝子の探索 ○田中誠之¹・川原章平¹・金城慶一¹・西谷千佳子²・保坂ふみ子²・寺上伸吾²・矢野可奈子²・藤井浩²・清水徳朗²・山本俊哉²・板井章浩¹(¹鳥取大農学部,²農研機構果樹研)</p>	<p>果 025 光独立栄養培養法により作出されたニホンナシ「幸水」自根苗の生育 ○大谷義夫¹・藤井裕二²・望月勇志²・河岡明義²(¹栃木農試,²日本製紙森林研)</p>	<p>果 046 ブドウ生産現場における労働負担の把握と農作業をアシストするウェアラブルアグリロボットの必要性 ○赤川真生¹・山本剛平²・反田公紀³・丹沢隆¹・菊池知古⁴・荒木俊光⁴・遠山茂樹²・萩原勲¹(¹東京農工大院農学府,²東京農工大院工学府,³JA フルーツ山梨,⁴東京農総研セ)</p>	<p>野 003 異なる抵抗性遺伝子を保有する品種・系統のトマト黄化葉巻病抵抗性 ○白水武仁¹・行徳裕¹・江口武志¹・山並篤史¹・岩本英伸¹(熊本農研セ,²菊池地域振興局)</p>	<p>野 026 ニンジンの養液栽培技術開発に関する研究 ○寺林敏¹・富田広一¹・伊達修一¹(京都府立大院生命環境科学研究所)</p>	<p>野 049 イチゴ「かおり野」の花芽分化に及ぼす育苗期の窒素中断時期の影響 ○北村八祥¹・森利樹¹(三重農研)</p>
9:45	<p>果 004 リンゴ台木「JM7」の挿し木発根性についての QTL 解析 ○森谷茂樹¹・岩波宏¹・岡田和馬¹・山本俊哉²・阿部和幸¹(¹農研機構果樹研(盛岡),²農研機構果樹研)</p>	<p>果 026 セイヨウナシの樹形の違いがスピードスプレーヤー防除における薬液到達性に及ぼす影響 ○高橋和博¹・須藤佐蔵²・本田浩史¹(¹山形農総研七園試,²山形村山農技普)</p>	<p>果 047 ブドウ「藤稔」におけるシアナミド剤の休眠期処理が生育および果実特性に及ぼす影響 ○関達哉¹・北尾一郎¹・石川一憲²・柴田健一郎¹・曾根田友暁¹(¹神奈川農技セ,²東京農大)</p>	<p>野 004 「ファースト」雌性不稔変異体(T-4)を種子親とした軟果皮中玉トマト F₁ 系統の果実特性と品種比較 ○遠矢純子¹・榊田正治¹・村上賢治¹(岡山大院自然科学研究所)</p>	<p>野 027 養液栽培のエダマメにおける栽培密度が収量および生育に及ぼす影響 ○塚本崇志¹・土屋和²・川城英夫¹(¹千葉農林総研セ,²MKV ドリーム(株))</p>	<p>育種・品種(イチゴ) II 野口 裕司</p> <p>野 050 四季成り性イチゴ品種の開花の早晩性 ○森下昌三¹・本城正憲¹・濱野恵¹・山崎浩道¹・矢野孝喜¹(農研機構東北農研)</p>
10:00	<p>育種(リンゴ) 板井 章浩</p> <p>果 005 リンゴ新品種「シナノブッチ」について ○前島勲¹・小松宏光¹・白田彰¹・羽生田忠敬¹・木原宏¹(長野果樹試,²長野県農政部,³元長野果樹試)</p>	<p>ナシ II 大谷 義夫</p> <p>果 027 ニホンナシ露地栽培における発芽不良の発生地域と状況について ○杉浦俊彦¹・中村仁¹・阪本大(長野果樹試,²長野県農政部,³元長野果樹試)</p>	<p>ブドウ II 中島 育子</p> <p>果 048 4 倍体欧米雑種ブドウの着色遺伝子座におけるハプロタイプ¹の構成と果皮色との関係 ○東暁史¹・宇土幸伸²・佐藤明彦¹・三谷宣仁¹・河野淳¹・伴雄介¹・薬師寺博¹・梶下佳子¹・小林省藏¹(¹農研機構果樹研(安芸津),²山梨果樹試)</p>	<p>育種・品種(ナス・トウガラシ類) 松添 直隆</p> <p>野 005 半身萎凋病・青枯病・半枯病抵抗性台木用ナス系統の育成 ○齋藤猛雄¹・松永啓¹・斎藤新¹(農研機構野菜茶研)</p>	<p>養液栽培 II 寺林 敏</p> <p>野 028 発表取り消し</p>	<p>野 051 イチゴの二倍体種 <i>Fragaria vesca</i> と八倍体種 <i>F × ananassa</i> の種間交雑により得られた実生へのコレヒチン処理が倍率性におよぼす影響 ○岩田貴志¹・柳智博¹・ナスワットブリーダー¹・曾根一純²(¹香川大農学部,²農研機構九州神縄農研)</p>
10:15	<p>果 006 交配から開花までを 2 年で経過させるためのリンゴ育苗方法の検討 ○小森貞真¹・山本翔太¹・高岸香里¹・原田温子¹・安達義輝¹・渡邊浩²・副島淳一³・吉川信幸¹・壽松木章¹(¹岩手大農学部,²岩手大農学部寒冷フィールドサイエンス教育研究セ,³農研機構果樹研)</p>	<p>果 028 気温上昇が千葉県内におけるニホンナシの休眠及び満開日¹に及ぼす影響 ○戸谷智明¹・川瀬信三¹(千葉農林総研セ)</p>	<p>果 049 巨峰系 4 倍体品種におけるアントシアニン合成関連遺伝子の時期別発現とアントシアニン蓄積との関係 ○宇土幸伸¹・東暁史²・齋藤典義¹・里吉友貴¹・薬師寺博²・小林省藏²(¹山梨果樹試,²農研機構果樹研(安芸津))</p>	<p>野 006 ピーマン¹及びトウガラシ¹におけるネコブセンチュウ抵抗性素材の評価 ○杉田亘¹・蘭半田真作¹・島崎憲一²・前畑祐喜¹・溝辺真^{1,3}・南峰夫²・黒木利美¹・根本和洋²・長田龍太郎¹(¹宮崎農試,²信州大院農学研究科,³宮崎県庁)</p>	<p>野 029 「防根給水ひも」による果実類の養水分供給バランス栽培法の開発(第 13 報)高 K/Ca 培養液がトマト葉緑の黄変抑制と果実収量に及ぼす影響 ○榊田正治¹・佐野真治²・森重歩己³・村上賢治¹(¹岡山大院自然科学研究所,²岡山大農,³南国興産 K.K.)</p>	<p>野 052 軟 X 線照射によるイチゴ「紅ほっぺ」の形質変異と有用早生系統の育成 ○岡村佳香¹・佐々木麻衣^{2*}・青島秀憲^{3*}・藤浪裕幸^{4*}・井狩徹¹・伊奈健宏^{5*}・竹内隆¹(¹静岡農林技研,²静岡西部農林事務所,³志太大原農林事務所,⁴東部農林事務所,⁵伊豆農研セ わさび研究拠点)</p>
10:30	<p>果 007 高速液体クロマトグラフィー質量分析計を利用したリンゴ果肉中の各種ポリフェノール成分の品種間差異 ○工藤剛¹・今智之¹・深澤(赤田)朝子¹(青森産産セりんご研)</p>	<p>果 029 ニホンナシに対する MAE-30 の病花作用 ○大川克哉¹・奥野峻¹・北条壽一²・久保田直樹²・小原均³・近藤浩¹(¹千葉大院園芸学研究所,²丸尾カルシウム(株),³千葉大環境健康フィールド科学セ)</p>	<p>果 050 ブドウ遺伝資源における黒と白の病抵抗性の病斑鑑定による評価 ○河野淳¹・佐藤明彦¹・中野正明¹・須崎浩一¹・三谷宣仁¹・伴雄介¹(農研機構果樹研)</p>	<p>野 007 東南アジア原産トウガラシ系統の青枯病抵抗性評価 ○三村裕¹・吉川正巳¹・松島憲一²・平井正志^{1*}(¹京都農試,²信大院農学,³京都府大院生命環境科学)</p>	<p>野 030 摘葉・摘果処理がトマトの茎の形態変化に及ぼす影響 ○鈴木克己¹・松田裕¹・中野明正¹・木村一郎²・高市益行¹(¹農研機構野菜茶研,²山口農林事務所)</p>	<p>栽培(イチゴ) I 西本 登志</p> <p>野 053 収穫株と接続したランナー子株の直接定植がイチゴ「紅ほっぺ」の生育と収量に及ぼす影響 ○金森健一¹(鳥根農技セ)</p>

第1日 3月21日(日) 9:00~10:45

G会場 74 野菜IV	H会場 41 花きI	I会場 42 花きII	J会場 31 利用I	時間
<p>栽培(アスパラガス) 駒井 史訓</p> <p>野 070 伏せ込み促成アスパラガスの1年半株養成法における本圃への苗の定植時期が茎葉と根の生育に及ぼす影響 ○小泉文晴・石澤昌彦(群馬農技セ中山間地園研セ)</p>	<p>育種I 稲葉善太郎</p> <p>花 001 ラン科植物における遠縁交雑に関する研究。2エビネ属とシラン属の正逆交配による雑種形成と半数体誘導 ○三吉一光¹・工藤まり子¹・三位正洋²(¹秋田県立大生物資源,²千葉大園芸)</p>	<p>遺伝子解析・遺伝子組換え 岸本 早苗</p> <p>花 022 異形花型自家不和合性植物‘ベニバナアヤマ’における短花柱花特異的発現遺伝子の単離 ○牛島幸一郎・坂東麻由・北端利行・久保康隆・中野龍平(岡山大院自然科学研究科)</p>	<p>物性評価 堀江 秀樹</p> <p>利 001 音響振動によるブドウ肉質の判定 ○岩谷真一郎¹・薬師寺博²・三谷宣仁²・櫻井直樹¹(¹広島大院生物園科学研究科,²農研機構果樹研(安芸津))</p>	9:00
<p>野 071 暖地のアスパラガス伏せ込み促成栽培における萌芽性回復に有効な低温上限の推定 ○渡辺慎一・古谷茂貴・大和陽一(農研機構九州沖縄農研)</p>	<p>花 002 アメリカフヨウとフヨウのコレヒチン処理による4倍体個体の作出 ○小笠原利恵・川原勇太・福井博一(岐阜大応用生物科学部)</p>	<p>花 023 シロイヌナズナAPIキメラリプレッサー遺伝子を導入したキクの花成 ○岸田拓也¹・鳴海貴子^{1*}・間竜太郎²・光田展隆³・高木優³・大坪憲弘²・深井誠一¹(¹香川大農学部,²農研機構花き研,³産総研・ゲノムファクトリー)</p>	<p>利 002 携帯型振動硬度計によるカキ‘西条’の収穫期予測法 ○神田巳樹夫¹・谷脇満^{2*}・櫻井直樹³(¹島根農技セ,²広大産連セ,³広大生物園,京大院農学研究科)</p>	9:15
<p>野 072 アスパラガスにおける立茎法の違いが収量に及ぼす影響 ○池内隆夫(香川農試三木)</p>	<p>花 003 キルタンサスにおける花粉管伸長過程での精細胞の異型化 ○平野野也^{1*}・星野洋一郎^{1,2}(¹北大創成研,²北大北方生物園セ,³理研仁科加速器研セ)</p>	<p>花 024 AGAMOUSホモログ発現抑制によるロベリア八重化の試み ○垂石さとみ・出野由貴・志村華子・増田清・鈴木正彦(北大院農)</p>	<p>利 003 振動法を応用した日本ナシ‘幸水’芯腐れ症果実の非破壊判定法 ○門脇稔¹・永島進¹・櫻井直樹²(¹島根農技セ,²広大生物園)</p>	9:30
<p>野 073 雪山貯蔵根株によるホワイトアスパラガス夏どり作型の検討 ○地子立^{1,2}・荒木肇³(¹北海道大院環境科学科,²北海道花野技セ,³北海道大北方生物園セ)</p>	<p>育種II 山中 正仁</p> <p>花 004 カララナデシコ野生種を利用した早生性、高生産性でかつ花持ち性の優れたカーネーションの育種(第2報)交雑実生の到花日数を指標とした早生系統の選抜 ○小野崎隆・八木雅史・棚瀬幸司(農研機構花き研)</p>	<p>組織培養 三吉 一光</p> <p>花 025 コナラの組織培養における発根の検討 ○茂木靖和(岐阜森林研)</p>	<p>利 004 キュウリの歯切れ感検出のための機器測定法 ○神山かおる・早川文代(農研機構食総研)</p>	9:45
<p>栽培(アスパラガス・ホウレンソウ) 小泉 文晴</p> <p>野 074 低温及び茎葉部の黄化がアスパラガスの休眠性に及ぼす影響 ○山口貴之・高橋拓也・漆原昌二(岩手農研セ)</p>	<p>花 005 切り花用マーガレット‘ピーチシュガー’の育成 ○稲葉善太郎(静岡農林研伊豆農研セ)</p>	<p>花 026 冷陰極蛍光ランプ(C CFL)光源とSuper CO₂ enrichmentがオンシジウムクローン苗の生育に及ぼす影響 ○則包篤志・田中道男(香川大農学部)</p>	<p>貯蔵・加工 櫻井 直樹</p> <p>利 005 レーザー尖孔を付与したパーシャルシール包装のガス透過性 ○石川豊¹・北澤裕明¹・阿部真¹・路飛¹・鈴木芳孝²(¹食総研,²高知農技セ)</p>	10:00
<p>野 075 収穫時期、品種および保存方法の違いがアスパラガスの品質に及ぼす影響 ○元木悟¹・濱渦康範²・川畑朋崇³・松島憲一²・酒井浩晃¹・北澤裕明⁴・前田智雄⁵・重盛勲⁶(¹長野野菜花き試北信支場,²信州大院農学研究科,³信州大農学部,⁴農研機構食総研,⁵弘前大農学生命科学部,⁶長野野菜花き試)</p>	<p>花 006 電照抑制栽培用無側枝性秋ギク‘雪姫’の育成とその特性 ○谷川孝弘・松野孝敏・國武利浩・中村知佐子・山田明日香・梶山拓郎・佐伯一直(福岡農総試,[*]八女普及セ)</p>	<p>収穫後生理I 原田 太郎</p> <p>花 027 シネンシス系デルファイニウム切り花における受粉によるエチレン生成量の変化 ○岡本充智¹・市村一雄²(¹愛媛農林水産研,²農研機構花き研)</p>	<p>利 006 ニホンナシ‘王秋’の早期収穫果実の貯蔵中の変化 ○塩田あづさ¹・川瀬信三¹・中口俊哉²(¹千葉農林総研セ,²千葉大工学部)</p>	10:15
<p>野 076 前作の異なるハウス栽培ホウレンソウにおける主根および栽培土壌の糸状菌のDGGE解析 ○森山真久¹・吉田祐子²・須賀有子²・小森牙香^{2*}(¹農研機構東北農研,²農研機構近中四農研)</p>	<p>花 007 組織培養による秋ギク‘晃花の富士’有望系統の選抜 ○峯大樹・茶谷正孝・諸岡淳司(長崎農技セ,[*]長崎農業大学校)</p>	<p>花 028 カーネーション切り花におけるエチレン情報伝達に関わる遺伝子発現の高温による変動 ○市村一雄・仁木朋子・渋谷健市・湯本弘子(農研機構花き研)</p>	<p>利 007 酢漬けによりラッキョウ中のCd濃度は減少する ○辻顕光・堀江秀樹(農研機構野菜茶研)</p>	10:30

第1日 3月21日(日) 10:45～12:00

時間	A 会場 51 果樹 I	B 会場 52 果樹 II	C 会場 53 果樹 III	D 会場 61 野菜 I	E 会場 64 野菜 II	F 会場 71 野菜 III
10:45	果 008 リング小球形潜在ウイルスベクターを用いたリング世代促進 ○山岸紀子 ¹ ・佐々木慎太郎 ¹ ・長瀬桃代 ¹ ・小森貞男 ¹ ・和田雅人 ² ・山本俊哉 ³ ・吉川信幸 ¹ (¹ 岩手大農学部, ² 農研機構果樹研(盛岡), ³ 農研機構果樹研)	果 030 加温ハウス栽培ニホンナシ‘幸水’の省エネルギー管理技術 ○西川豊・田口裕美(三重農研)	果 051 4倍体無核ブドウ‘あづましずく’の新梢生育特性と摘心効果 ○佐藤守(福島農総セ果樹研)	野 008 トウガラシ類の単為結果性系統の検索と果実肥大における植物ホルモンの役割 ○本多一郎・松永啓・福田真知子・松尾哲・菊地郁(農研機構野菜茶研)	野 031 トマトの根域冷却における培養液濃度が果実糖度に及ぼす影響 ○藤尾拓也・佐藤弘(岩手農研セ)	野 054 光条件がイチゴ果実のアントシアニン生成に及ぼす影響 ○吉田裕一・吉本有里(岡山大院自然科学研究科)
11:00	育種(ナシ) 澤村 豊 果 009 ニホンナシ新品種‘秋泉’ ○長澤正士・柴田雄喜・田口辰雄・嵯峨清・原加寿子・瀬田川守・藤井芳一・小野早人(秋田農林水産技セ果樹試天王分場)	リンゴ 森谷 茂樹 果 031 リンゴ由来ソルビトール6リン酸脱水素酵素のシロイヌナズナ葉での発現効果(第2報) ○奈島賢児 ¹ ・金山喜則 ² ・山田邦夫 ¹ ・山本昭平 ³ ・白武勝裕 ¹ (¹ 名古屋大院生命科学研究所, ² 東北大院農学研究科, ³ 中部大応用生物学部)	ブルーベリー他 塚也 果 052 加温栽培および露地栽培におけるブルーベリー4品種の開花・収穫期および果実品質 ○浜部直哉(静岡農林技研果樹研セ落葉果樹研究拠点)	育種・品種(レタス・タマネギ) 山下謙一郎 野 009 レタス根腐病レース1,2複合抵抗性品種「長・野45号」の育成 土屋宣明 ¹ ・宮坂幸弘 ² ・清水時哉 ² ・芹澤啓明 ² ・小松和彦 ² ・松本悦夫 ³ ・袖山栄次 ² (¹ 長野農試, ² 長野野花き試北信支場, ³ 長野野花き試佐久支場)	生育生理(トマト) 荒木 肇 野 032 開花前の日射に基づく夏秋トマトの週間収量変化の子測 ○東出忠桐(農研機構野菜茶研)	野 055 イチゴ栽培における局所環境制御による安定生産技術の確立。イチゴ促成栽培におけるメッシュ状面状ヒーターを用いた果実温度制御による安定生産技術の確立(その1) ○曾根一純 ¹ ・中原俊二 ¹ ・泉一雄 ² ・沖村誠 ¹ ・壇和弘 ¹ ・日高功太 ¹ (¹ 農研機構九沖農研セ, ² 三芳電機(株))
11:15	果 010 黒星病耐病性ニホンナシ品種の育成に関する研究2.黒星病に対する「南農ナシ4号」の耐病性評価 ○小仁所邦彦 ¹ ・船橋徹郎 ¹ ・川上暢喜 ¹ ・江口直樹 ² (¹ 長野南信農試, ² 長野県農業試)	果 032 酵母 Two ハイブリッド法で単離したリンゴMADS 遺伝子の解析 ○和田雅人 ¹ ・田中紀久 ² ・耳田直純 ³ ・本多親子 ¹ ・守谷友紀 ¹ ・工藤和典 ¹ ・小森貞夫 ³ (¹ 農研機構果樹研, ² 弘前大農学生命, ³ 岩手大農学部)	果 053 プロアントシアニン高含有ラビットアイブルーベリー培養苗栽培法の開発 ○布施拓石 ¹ ・阿部健一 ² ・鉄村琢哉 ² ・國武久登 ² (¹ 宮崎県産業支援財団, ² 宮崎大農学部)	野 010 ケルセチンを高含有するタマネギ系統の特性 ○柳田大介 ¹ ・野田智昭 ² ・山岸喬 ³ ・田中静幸 ¹ (¹ 北海道北見農試, ² 北海道花野技セ, ³ 北見工大)	野 033 光強度および飽差がトマトのCO ₂ 吸収に及ぼす影響 ○安東赫 ^{1,2} ・池田英男 ¹ ・中野明正 ² (¹ 千葉大環境健康フィールド科学セ, ² 農研機構野菜茶研)	栽培(イチゴ)II 壇 和弘 野 056 新局所冷却法の適用による四季成り性イチゴ‘サマールビー’の増収効果 ○各務裕史 ¹ ・中原範子 ^{*2} ・西岡克浩 ³ (¹ 岡山農総セ農試北部支場, ² 新見農業普指セ, ³ ダイキン工業)
11:30	果 011 ニホンナシ新品種‘瑞鳥’の特性について 田辺賢二 ^{1,2} ・○中原士元 ³ ・田村文男 ¹ (¹ 鳥取大農学部, ² 鳥取二十世紀記念館, ³ 鳥取大院農学研究科)	果 033 アブシシン酸(ABA)代謝制御によるリンゴ実生の乾燥耐性向上 ○近藤悟 ¹ ・須川瞬 ¹ ・二宮麻希 ¹ ・大川克哉 ¹ ・小原均 ¹ ・上野琴巳 ² ・轟泰司 ³ ・水谷正治 ⁴ ・菅谷純子 ⁵ ・平井伸博 ⁶ (¹ 千葉大院園芸学研究所, ² 東京大院農業生命科学研究所, ³ 静岡大農学部, ⁴ 神戸大院農学研究科, ⁵ 筑波大院生命環境科学研究科, ⁶ 京都大院農学研究科)	果 054 ポット栽培におけるマンゴー‘アーウィン’および‘愛紅’の収量と果実品質に及ぼす葉果比の影響 ○文室政彦 ¹ ・宇都宮直樹 ² ・佐々木勝昭 ¹ ・志水恒介 ¹ (¹ 近畿大附属農場, ² 近畿大農学部)	野 011 ネギ属生殖質収集物と異種染色体添加系統の隣基におけるサボニンの定性・定量分析 ○ブウクウエン・ホア ¹ ・エルセイエド・アブデルアール・マグディ ² ・山内直樹 ² ・伊藤真一 ² ・執行正義 ² (¹ 鳥取大院連合農学研究科, ² 山口大農学部)	野 034 オランダおよび日本品種トマトにおける必須元素とSrの部位別分布 ○中野明正・安東赫・松田恰・安場健一郎・東出忠桐・鈴木克己・高市益行(農研機構野菜茶研)	野 057 四季成り性イチゴF ₁ 実生苗の花芽分化促進 ○井口工(香川農試)
11:45	果 012 ‘幸水’より早く収穫される大玉のニホンナシ新品種‘香麗(こうれい)’ ○曾根田友晔・柴田健一郎・関達哉(神奈川農技セ)	果 034 青森県におけるリンゴの晩霜害危険度に対する温暖化影響のモデル的解析 ○朝倉利員 ¹ ・杉浦裕義 ¹ ・阪本大輔 ¹ ・杉浦俊彦 ¹ ・弦間洋 ² (¹ 農研機構果樹研, ² 筑波大院生命環境科学研究科)		野 012 ネギ属単一異種染色体添加系統を用いた機能性成分関連酵素遺伝子の座乗染色体決定 ○中島徹也 [*] ・谷口成紀 [*] ・山内直樹 [*] ・執行正義(山口大学農学部, [*] (株)トリコン)	野 035 塩類ストレス条件下のトマト葉部プロリン含量は光条件に影響される ○切岩祥和 ¹ ・磯川麻里 ¹ ・遠藤昌伸 ² ・糠谷明 ¹ (¹ 静岡大農学部, ² 新潟農総研園研セ)	野 058 四季成り性イチゴ数品種における果実硬度およびペクチン質組成の季節変動 ○今森久弥 ¹ ・二本智 ¹ ・瀬戸薫 ¹ ・鈴木卓 ¹ ・鈴木正彦(北大院農)

第1日 3月21日(日) 10:45 ~ 12:00

G会場 74 野菜IV	H会場 41 花きI	I会場 42 花きII	J会場 31 利用I	時間
<p>野 077 低濃度エタノールを用いた土壌消毒法が夏どりホウレンソウ栽培に及ぼす影響 ○浅野雄二¹・渡辺秀樹² (¹岐阜中山間農研, 岐阜農技セ)</p>	<p>遺伝資源・マーカー 田淵 俊人 花 008 カワラの系統地理学的構造: 静岡県と近傍の概要 ○安藤敏夫¹・袴田哲司²・清原祐介³・橋田紘和¹・國分高⁴(¹千葉大院園芸学研究所, ²静岡県農林技研森林・林業研セ, ³千葉大院園芸学部, ⁴千葉大フィールド科セ)</p>	<p>花 029 開花後のキンギョソウ花弁におけるアブシジン酸 (ABA) 関連遺伝子の転写産物量および内生 ABA 含量の変化と花弁老化との関係 ○高橋彩佳¹・山田哲也¹・西島隆明²・七ヶ高也³・山口聡子¹・金勝一樹¹(¹農工大院農, ²農研機構花き研, ³NIAS)</p>	<p>生生活性物質等処理 石川 豊 利 008 高濃度酸素水の種子催芽・切り花延命効果 ○堤恭子¹・中野智彦²・山口重行¹・松村浩一¹(¹パナソニック電気(株), ²奈良農総セ)</p>	10:45
<p>栽培(サトイモ・レタス) 小林 尚司 野 078 緩効性カリの施用がサトイモの収量に及ぼす影響 ○林斐・北田幹夫(富山農総セ・園研)</p>	<p>花 009 海浜植物イソスミレの起源, 伝播と遺伝的多様性 ○平井正志¹・内海知子²・久保中央¹(¹京都府大生命科学環境, ²京都府大農学部)</p>	<p>収穫後生理 II 西島 隆明 花 030 アサガオ花弁老化時におけるオートファジー関連遺伝子 ATG8 の発現 ○渋谷健市¹・清水圭一²・山田哲也³・市村一雄¹(¹農研機構花き研, ²鹿児島大農学部, ³東京農工大院農学府)</p>	<p>利 009 トレハロース散布がホウレンソウの生育に与える影響 ○小林透¹・倉田理恵¹・川合敏之²(¹農研機構九沖農研, ²(株)林原)</p>	11:00
<p>野 079 レタスの種子発芽に及ぼす LED の照射方法の影響 ○城守寛¹・金澤俊成²・阿久津克輝¹・菊池修平¹・藤田貴之¹(¹遠野高, ²岩手大教育学部)</p>	<p>花 010 ISSR 遺伝子分析による春咲きグラジオラスの品種分類 ○細木高志・野島幸恵・村上理恵(鳥根大生物資源科学部)</p>	<p>花 031 アサガオの花弁老化におけるオートファジーと老化関連遺伝子の発現との関係 ○篠崎良仁・山田哲也・金勝一樹(農工大院農)</p>	<p>利 010 オゾンマイクロバブルを用いた水耕栽培での応用 ○後藤知大・小島敬久・塚田桂大・榎真由美・玉置雅彦(明治大農学部)</p>	11:15
<p>野 080 圃化培地を利用した若苗定植による夏秋どりレタスの抽たい抑制効果 ○星野英正¹・小松和彦²・小澤智美¹・塩川正則³・酒井浩晃²・重盛勲¹(¹長野野菜花き試, ²長野野菜花き試北信支場, ³長野野菜花き試佐久支場)</p>	<p>花 011 スイートピーにおける連鎖地図の作成 前畑裕喜¹・中村薫¹・杉田亘¹・明石良²・郡司定雄¹・長田龍太郎¹(¹宮崎総農試, ²宮崎大農学部)</p>			11:30
				11:45

時間	A 会場 51 果樹 I	B 会場 52 果樹 II	C 会場 53 果樹 III	D 会場 61 野菜 I	E 会場 64 野菜 II	F 会場 71 野菜 III
9:00	<p>カンキツ I 清水 徳朗</p> <p>果 013 軟 X 線照射花粉および「ロ之津 41 号」花粉を受粉したヒュウガナツ胚珠の退化過程 ○尾形凡生¹・松本正明¹・美藤勝経¹・國廣武志²・浜田和俊¹(¹高知大農学部,²高知県立春野高校)</p>	<p>休眠 森口 卓哉</p> <p>果 035 ニホンナシの自発休眠導入に及ぼす ABA の影響とそれに関与する候補遺伝子群の解析 ○竹村圭弘¹・須藤幸子²・黒木克翁²・秋吉大貴³・平岡雅彦³・有馬麻衣子³・北川絵理³・田村文男³(¹鳥取大院連合農学研究科,²鳥取大院農学研究科,³鳥取大院農学部)</p>	<p>クリ 佐藤 明彦</p> <p>果 055 クリ品種「ぼろたん」における結果母枝資質と雌花数、収量および品質との関係 ○神尾真司¹・門脇伸幸²・春崎聖一³・澤村豊⁴(¹岐阜県農研(中津川),²茨城農総七園研,³熊本農研セ球磨農研,⁴農研機構果樹研)</p>	<p>育種・品種 (ハクサイ・メロン) 小野寺康之</p> <p>野 013 長日要求性の「つげな中間母本農 2 号」を利用したハクサイ晩抽性育種(第 1 報)寒冷地の晩秋播きによる選抜 ○由比進¹・北本尚子²・片岡園¹・本城正憲¹(¹農研機構東北農研,²岩手大農学部)</p>	<p>栄養生理・施肥(トマト) 中野 明正</p> <p>野 036 施肥方法の違いがトマト葉先枯れ症抑制におよぼす効果 ○熊崎晃¹・川上暢喜²・浅野雄二¹・鈴木隆志³(¹岐阜県農研,²長野南信農試,³岐阜農技セ)</p>	<p>生理活性物質, 病害虫・生理障害 I 村山 徹</p> <p>野 059 ウドの芽の休眠と内生アブシジン酸濃度の変化 ○鶴沢玲子¹・遊澤直恵¹・荒木俊光¹・本多一郎²(¹東京農総研セ,²農研機構野菜茶研)</p>
9:15	<p>果 014 カンキツにおける葉緑体 DNA の多様性 ○山本雅史¹・土持由¹・山島寛²・寺本(稲福)さゆり³・楊学虎³・楊曉倫⁴・鍾廣炎³・久保達也¹・富永茂人¹(¹鹿児島大農学部,²京都大院農学研究科,³鹿児島大院連合農学研究科,⁴同済大生命科学科,⁵中国農業科学院柑橘研)</p>	<p>果 036 ニホンナシ「豊水」における暖冬条件下で発生する発芽不全・花芽のネクロシス現象に関連する休眠芽中の水の動態について ○山本ロブソン隆¹・堀金明美²・吉田充²・瀬古澤由彦¹・菅谷純子¹・弦間洋¹(¹筑波大院生命環境科学研究科,²食品総合研究所)</p>	<p>果 056 クリ「ぼろたん」における副梢利用苗が幼木期の生育に与える影響 ○春崎聖一¹・岩谷章生²・神尾真司³・澤村豊⁴(¹熊本農研セ球磨農研,²熊本農研セ果樹研,³岐阜県農研(中津川),⁴農研機構果樹研)</p>	<p>野 014 根こぶ病強度抵抗性を有する「はくさい中間母本農 9 号」の育成とその特性 ○松元哲・島山勝徳・吹野伸子・小原隆由・石田正彦(農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 037 トマトの養分吸収能力に及ぼす培養液濃度の影響 ○ Gonzalez Jocelyn Amihan・丸尾達・篠原温(千葉大院園芸学研究所)</p>	<p>野 060 ニンジン空洞症の発生に及ぼす株間と窒素施用量の影響 ○川城英夫・吉田俊郎(千葉農総研セ)</p>
9:30	<p>果 015 沖縄本島北部ならびに先島諸島における在来カンキツ遺伝資源 ○寺本(稲福)さゆり^{1,2}・諏訪竜一¹・川満芳信¹(¹琉球大農学部,²鹿児島大院連合農学研究科)</p>	<p>果 037 次世代シークエンシング技術によるウメ休眠芽の EST 解析 ○羽生剛¹・上達弘明²・大岡智美²・佐々木隆太²・鈴木絢子³・矢野健太郎³・田尾龍太郎²・山根久代²(¹京都大院農学研究科附属農場,²京都大院農学研究科,³明治大農学部)</p>	<p>キウイフルーツ等 向井 啓雄</p> <p>果 057 マタビ属植物の葉焼け発生と比較 ○末澤克彦¹・福田哲生¹・山下泰生¹・清野智世²・片岡郁雄²(¹香川農試中分場,²香川大農学部)</p>	<p>野 015 Cucumis 属野生種のメロン種の割傷 (<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>melonis</i>) の発生に対する抵抗性評価 ○松本雄一^{1,2}・宮城慎¹・小原孝司³・渡部信義^{2,4}・久保山勉^{2,4}(¹茨城農総七工研,²東京農工大院連合農学研究科,³茨城農総七園研,⁴茨城大農学部)</p>	<p>野 038 トマトの同化産物の分配に及ぼす摘心と下葉摘除の影響 ○岡准憲^{1,2}・池田英男^{2,3}・古川一²(¹大塚化学(株),²大阪府大院生命環境科学研究科,³千葉大環境健康フィールド科セ)</p>	<p>野 061 冬どりキャベツ内部黒変症状の発生原因 ○塚家正英・村永順一郎・金井幸男(群馬農技セ)</p>
9:45	<p>カンキツ II 深町 浩</p> <p>果 016 ウンシュウミカンにおける葉の水ポテンシャルと土壌の水ポテンシャルとの関係 ○山本浩之¹・中谷章¹・宮本久美¹・田淵友義²・中桐貴生²・堀野治彦²(¹和歌山農総技セ果樹試,²大阪府大院生命環境科学研究科)</p>	<p>果 038 休眠期におけるサクラ属果樹花芽の内部形態の変化 ○大岡智美・上達弘明・佐々木隆太・山根久代・田尾龍太郎・米森敬三(京都大院農学研究科)</p>	<p>果 058 キウイフルーツ「レインボーレッド」におけるホルクコロフェニユロン液剤処理 ○村上寛(静岡農技研果樹研セ落葉果樹研究拠点)</p>	<p>野 016 メロン巻きひげなし形質の遺伝解析と育種への応用 ○水野真二¹・押切浩江¹・園田雅俊²・西野栄正²・佐藤隆英²・平林哲夫³・大泉利勝¹(¹千葉農総研セ暖地園研,²千葉大院園芸学研究所,³日本園芸生産研究所)</p>	<p>栽培(トマト) I 渡辺 慎一</p> <p>野 039 トマト低段密植栽培 2 次育苗苗における補光、光質、送風、夜間断水処理が生育に与える影響 ○高橋拓也¹・鈴木克己²・安場健一郎²・高市益行²(¹岩手農研セ,²農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 062 NaCl がアスパラガスの耐病性、抗酸化機能、遊離アミノ酸変動に及ぼす影響 ○岡田朋大・横山美佳・ナヒヤン、A.S.M.・松原陽一(岐阜大応用生物科学部)</p>
10:00	<p>果 017 TDR によるレモン樹の水分ストレス評価 ○赤阪信二¹・塩田俊¹・星典宏²・根角博久²(¹広島農総研農技セ,²近中四農研)</p>	<p>ウメ 草場新之助</p> <p>果 039 連作土への活性炭の混和がウメ幼木の生育に及ぼす影響 ○大江孝明¹・岡室美絵子¹・西原英治²・平田武³(¹和歌山農総技セ果樹試うめ研,²鳥取大院農学部,³味の素ファインテクノ(株))</p>	<p>果 059 T パートネル仕立て法によるマタビ属種間雑種「香粉」の省力化の検討 ○福田哲生¹・末澤克彦¹・片岡郁雄²・山下泰生¹(¹香川農試中分場,²香川大農学部)</p>	<p>育種・品種 (キュウリ・ケール等) 由比 進</p> <p>野 017 ダイアレル交配によるキュウリ果実物性の組合せ能力の検討 ○吉岡洋輔・杉山充啓・坂田好輝(農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 040 トマト低段密植栽培に適した品種の検討 ○磯崎真英・近藤宏哉・榊田泰宏・村上圭一・数田信次(三重農研)</p>	<p>病害虫・生理障害 II, 栽培(メロン) 森下 昌三</p> <p>野 063 イチゴのチップバーン発生に及ぼす高塩類濃度ストレスの比較 吉田裕一・○谷岡浩史(岡山大院自然科学研究所)</p>
10:15	<p>果 018 着果負担の違いがウンシュウミカンの気孔伝導度におよぼす影響 ○中谷章¹・山本浩之¹・宮本久美¹・中桐貴生²・田淵友義²・堀野治彦²(¹和歌山農総技セ果樹試,²大阪府大院生命環境科学研究科)</p>	<p>果 040 発育枝の剪定強度がウメ「露西」の着果、新梢発生に及ぼす影響 ○竹中正好・根来圭一・林恭平¹(和歌山農総技セ果樹試うめ研,²和歌山農林部)</p>	<p>果 060 イチジクの密植株仕立て栽培が凍寒害後の収量及び生育に及ぼす影響 ○門脇伸幸¹・関根伸昭²・多比良和生¹・江橋賢治¹(¹茨城農総七園研,²横浜市環境創造局)</p>	<p>野 018 アブラナ科野菜の機能性成分育種(第 1 報)育種素材の検出 ○芹澤啓明¹・○松本悦夫²・佐々木勝徳³・根矢崎牧子³・小川俊也³(¹長野・野花試北信,²長野・野花試佐久,³キリン HD フロンティア技術)</p>	<p>野 041 トマトの低段多段組合せ栽培体系モデルの構築、低段多段栽培の切り換えを前提とした栽培システムの開発 ○平田恵理¹・丸尾達²・北川裕³・廣瀬一郎³・篠原温²(¹千葉大院園芸学部,²千葉大院園芸学研究所,³神奈川農技セ)</p>	<p>野 064 トウガラシ果実中 Ca 濃度の季節変化と尻腐れ果発生との関係 ○難波博史・吉田裕一(¹岡山大院自然科学研究所)</p>
10:30	<p>果 019 着果負担の違いがウンシュウミカンの細根量におよぼす影響 中谷章・○宮本久美・田嶋皓・山田芳裕・山本浩之(和歌山農総技セ果樹試)</p>	<p>果 041 果樹園土壌に生息する微生物からの抽出 DNA を用いた土壌評価法 ○米田基人・松原智子・清水一・クルス アンドレフレイリ・石井孝昭(京都府大院生命環境科学研究科)</p>	<p>カキ 薬師寺 博</p> <p>果 061 季節的気温シグナルが <i>Dm6b4</i> の発現を介してカキの甘渋性制御に関与する ○赤木剛士¹・池上礼子²・米森敬三¹(¹京都大院農学研究科,²石川県立大資源生物環境学部)</p>	<p>野 019 アブラナ科野菜の機能性成分育種(第 2 報)新品種ケール「長・野交 46 号」の特性 ○芹澤啓明¹・佐々木勝徳²・○百瀬眞幸²・根矢崎牧子²・大塚雅子²・杉村哲²・門馬孝之²・小川俊也²(¹長野・野花試北信,²キリン HD フロンティア技術)</p>	<p>野 042 トマト夏秋どり長期栽培における接ぎ木による増収効果 ○吉田千恵^{1,2}・岩崎泰永³(¹宮城農園研,²東北大院,³豊橋技科大)</p>	<p>野 065 メロン果実の果肉細胞の大きさと糖積に及ぼす夜間果実加温処理期間の影響 松本淳¹・菊池章²・上田秀昭²・中坪雄太²・○加納恭彦¹(¹石川県立大生物資源環境学研究所,²石川県立大)</p>

G会場 74 野菜IV	H会場 41 花きI	I会場 42 花きII	J会場 31 利用I	時間
<p>栽培(果菜類) 福元 康文</p> <p>野 081 発表取り消し</p>	<p>トルコギキョウ 谷川 孝弘</p> <p>花 012 トルコギキョウ白色花卉におけるアラノイド覆面面積率の環境変異と選抜効果 ○福田直子¹・羽田野呂二²・秋元徹²・大澤良³(¹農研機構花き研,²(株)ミコン,³筑波大院)</p>	<p>ラン類 窪田 聡</p> <p>花 032 コチョウランの低コスト花茎発生のための局所冷房装置の開発 ○小川理恵¹・加藤久巳²・大石一史¹(¹愛知農総試,²東海物産(株))</p>	<p>エチレン・鮮度保持 久保 康隆</p> <p>利 011 小枝柿の燻蒸脱渋法の脱渋機構解明(第1報)エチレン処理が水溶性タンニン含量および果実品質に及ぼす影響 壽松木章・○曾根晴佳・松岡さおり・三浦靖・小森貞男(岩手大農学部)</p>	9:00
<p>野 082 ピーマン接ぎ木栽培に関する研究(第4報)接ぎ木時の根の有無が育苗期の生育および発根におよぼす影響 ○橋本直真作¹・中原亜理江²・黒木利美¹・渡司照久¹(¹宮崎農総試,²南那珂農振)</p>	<p>花 013 デジタルマイクロスコープによるトルコギキョウの花弁表面の観察 ○勝谷範敏¹・星野滋²・福島啓吾²(¹IWAD環境福祉専門学校,²広島総研農技セ)</p>	<p>花 033 洋ランの栽培の基本検討(6)根の観察による水やり ○井上直久¹・岩澤洋樹²・根岸秀和³・熊沢博満⁴・矢野哲司⁵・山田貴憲⁶・長村智司⁷・井上恒久⁸(¹東京農工大,²山蘭園,³根岸園芸,⁴鈴鹿フラワー,⁵ヤノオーキッド,⁶山田蘭園,⁷大阪テクノホルティ園芸学校,⁸農環研)</p>	<p>利 012 植物体中のFe²⁺は植物脂質からのエチレン生成に重要な役割を果たす ○石井孝昭¹・伊藤正宗¹・倉本誠²・クルスアンドレフレイリ¹(¹京都府立大大学院生命環境科学研究科,²愛媛大総合科学研究支援セ)</p>	9:15
<p>野 083 栽培法の差異および養液栽培における培養液濃度の差異が「毛馬」キュウリの苦味発現および品質に及ぼす影響 ○嘉悦佳子¹・森川信也¹・磯部武志²・中村謙治²・阿部一博³(¹大阪環農水総研,²エスベックミック(株),³大阪府大院生命環境科学研究科)</p>	<p>遺伝子解析I 細川 宗孝</p> <p>花 014 アジアティックハイブリッドキュウにおけるアントシアニン生合成に関与する遺伝子のcDNAクローニングと発現プロフィール ○Lai Yun Song¹・山岸真澄²(¹北海道大学院農学院,²北海道大学院農学研究院)</p>	<p>開花生理 後藤丹十郎</p> <p>花 034 アフリカンマリーゴールドの花芽分化・発達に及ぼす暗期開始時昇温処理の影響 ○道園美弦^{1,2}・神門卓巳³・久松完¹・柴田道夫⁴・大宮あけみ^{1,2}(¹農研機構花き研,²筑波大院生命環境科学研究科,³島根農技セ,⁴農林水産技術会議事務局)</p>	<p>利 013 緑熟トマトの長時間冷処理は抗酸化システムの変動を伴う果皮色変化を促進する ○張安¹・中野浩平^{1,2}・前澤重禮^{1,2}(¹岐阜大院連合農学研究科,²岐阜大応用生物科学部)</p>	9:30
<p>栽培(コマツナ・ネギ類) 北田 幹夫</p> <p>野 084 コマツナ生産者の品種選択基準 ○山崎嘉基¹・梅澤裕美子²・佐野修司¹・嘉悦佳子¹・磯部武志²・北野裕士²・山野和則²(¹大阪環農水総研,²大阪中部農と緑)</p>	<p>花 015 スカシユリ花被片におけるアントシアニン蓄積量およびR2R3-MYB転写因子発現量の品種間差異 ○吉田祐輔¹・中山真義²・山岸真澄³(¹北海道大院農学院,²農研機構花き研,³北海道大院農学研究院)</p>	<p>花 035 黄色蛍光LEDを用いたパルス光の時間構造が秋ギクの開花および形質に及ぼす影響 ○石倉聡¹・山下真一¹・平間淳司²・野村昌史³・東浦優⁴・岩井豊通⁴・二井清友⁴・山中正仁⁴(¹広島総研農技セ,²金沢工大工学部,³千葉大院園芸学研究所,⁴兵庫農総セ)</p>	<p>利 014 UV-B照射による貯蔵ブロッコリー花蕾のクロロフィル分解に関するペルオキシダーゼアイソザイムの制御 ○イムラオスカンヤ¹・山内直樹²・執行正義²(¹鳥取大院連合農学研究科,²山口大農学部)</p>	9:45
<p>野 085 近紫外線除去フィルムと光反射シートの併用が軟弱野菜の生育と品質に及ぼす影響 ○野口貴¹・荒木俊光¹・海保富士男¹・上田智子²・岩崎泰史²・太田友代²・河野勉²(¹東京農林総研セ,²埼玉農林総研セ,³埼玉農水支援課)</p>	<p>花 016 スカシユリ花被片においてアントシアニン生合成を制御しているR2R3-MYB遺伝子 ○下山田善裕¹・中塚貴司²・岩田清³・山岸真澄³(¹北海道大院農学院,²岩手工研セ,³北海道大院農学研究院)</p>	<p>花 036 ストック・アイアン系品種の生育開花に及ぼす高温処理の影響 ○宮本賢二¹・田中典子¹・由井秀紀¹・中島由郎¹・山本宗輝²(¹長野野花試北信支場,²長野県農業技術課)</p>	<p>品質成分 山内 直樹</p> <p>利 015 追熟にともなう温室メロンの香気成分の変化 ○種石始弘¹・大場聖司¹・荒川博²(¹静岡農林研,²静岡県産業部研究調整室)</p>	10:00
<p>野 086 冬季温暖な地域における7月どりタマネギの作型開発 ○大川浩司¹・三浦広夫²(¹愛知農総試東三河農研,²退職)</p>	<p>遺伝子解析II 山口 雅篤</p> <p>花 017 Chalcone synthaseの構造から示されたペチュニア品種の形成におけるPetunia inflataの関与とピコチン形成に関わるゲノム構造の成立 ○森田裕将¹・伴雄介¹・安藤敏夫²・中山真義¹(¹農研機構花き研,²千葉大院園芸学研究所,³農研機構果樹研)</p>	<p>栽培・作型 島 浩二</p> <p>花 037 イミダクロロリド散布と細霧冷房がバラの葉枯れ防止に及ぼす効果 ○佐藤展之(静岡農林技研)</p>	<p>利 016 オレンジハクサイの色素組成と抗酸化性 ○渡辺満¹・六角啓一²・鮎瀬淳¹(¹農研機構東北農研,²タキイ研究農場)</p>	10:15
<p>野 087 4,5月どりネギ栽培における抽台発生抑制 ○貝塚隆史¹・中原正一(茨城農総セ園研)</p>	<p>花 018 ダリア花卉のアントシアニン合成制御にはbHLH様転写因子Dy15が関与する 細川孝孝¹・○大野翔¹・北村嘉那¹・児島未沙¹・星野敦²・立澤文見³・土井元章¹(¹京都大院農学研究所,²基生研,³岩手大農学部)</p>	<p>花 038 挿し芽苗を利用したダリア冬春切り作型における収量・品質の品種間差異(第2報) ○角川由加¹・仲照史¹・藤井祐子¹・北條真由美(奈良農総セ)</p>	<p>利 017 果実等の植物組織に含まれるフィブリル状多糖 ○新村博¹・木村聡¹・横山朝哉¹・松本雄二¹・空閑重則¹(¹東京大院農学生命科学研究科)</p>	10:30

第2日 3月22日(月・祝) 10:45 ~ 11:45

時間	A会場 51 果樹 I	B会場 52 果樹 II	C会場 53 果樹 III	D会場 61 野菜 I	E会場 64 野菜 II	F会場 71 野菜 III
10:45	<p>カンキツ III 久保 達也</p> <p>果 020 カンキツにおける自家及び他家受粉後の花柱内で発現するタンパク質のプロテオーム解析 ○内田飛香¹・竹中聡²・柳原陽一²・黒木重文³・本勝千歳²・佐々英徳⁴・水光正仁²・國武久登² (1)宮崎大院農工学総合研究科, (2)宮崎大農学部, (3)宮崎総農試, (4)千葉大園芸学部)</p>	<p>モモ 河合 義隆</p> <p>果 042 モモ44品種・系統における果肉障害(みつ症)発生程度の差異と環境変動 ○山根崇嘉・安達栄介・末貞佑子・八重垣英明[*]・山田昌彦・山口正己[*] (農研機構果樹研, [*]山形農総研七園試, ^{**}東京農業大農学部)</p>	<p>果 062 干し柿「市田柿」の原料果実の減肥栽培が干し柿の品質に与える影響 ○船橋徹郎・小仁所邦彦・塩原孝 (長野南信農試)</p>	<p>野 020 アブラナ科野菜の機能性成分育種(第3報)新しい野菜としてのラファノブラシカ ○芹澤啓明(長野・野花試北信)</p>	<p>栽培(トマト) II 磯崎 真英</p> <p>野 043 カバークロープマルチを導入したトマト生産の収量性と炭素隔離 ○荒木肇・中野英樹・高虫慧子・星野洋一郎・平田聡之(北海道大北方生物圏セ)</p>	<p>野 066 メロン果実の果肉細胞の大きさと糖集積に及ぼす SADH 処理時期の影響 ○松本淳¹・上田秀昭²・菊池章²・中坪雄太²・加納恭卓¹ (1)石川県立大生物資源環境学研究所, (2)石川県立大)</p>
11:00	<p>果 021 ジベレリンとプロヒドロジャスモンとの混合液散布が異なる栽培管理法におけるウンシュウミカンの果実品質に及ぼす影響 ○澤野郁夫(静岡農林技研果樹研セ)</p>	<p>果 043 モモの省力的改植技術開発に向けた土壌消毒剤および活性炭の利用 ○和中学・堀田宗幹(和歌山農総技セ果試かき・もも研)</p>	<p>果 063 カキ「刀根早生」の紅葉発現に及ぼすエセホンおよびエテクロゼート剤処理の影響 ○杉村輝彦・植木勲嗣(奈良農総セ果樹振セ)</p>	<p>産地識別・遺伝子 松元 哲</p> <p>野 021 葉緑体 DNA の多型解析によるレンコンの産地識別の可能性について ○荒木直幸¹・矢野亜希子¹・執行正義² (1)山口県警科捜研, (2)山口大農学部)</p>	<p>野 044 ドライミストによる冷房処理がトマト抑制栽培における施設内気温、生育、収量に及ぼす効果 ○川崎和子・鈴木充博・長屋浩治・水野はるか・榎原政弘(愛知県農総試園研)</p>	<p>病害虫・生理障害 (メロン) 加納 恭卓</p> <p>野 067 焼酎粕を利用した土壌病害虫防除法の開発(第1報) メロンつる割病 (<i>Fusarium oxysporum f.sp. melonis</i>) に対する防除効果 ○野崎克弘¹・黒木尚¹・黒木利美¹・渡司照久¹・今村幸久¹・甲斐孝憲²・上米良壽誕² (1)宮崎総農試, (2)雲海酒造(株))</p>
11:15	<p>果 022 夏秋季の高温がウンシュウミカンの浮皮に及ぼす影響 ○佐藤景子・深町浩・岩崎光徳・生駒吉識(農研機構果樹研カンキツ研究興津)</p>		<p>果 064 カキ「太秋」の両性花および雌花果実の大きさや品質との関係 ○長谷川耕二郎¹・濱田和俊²・尾形凡生² (1)高知大名誉教授, (2)高知大農学部)</p>	<p>野 022 カブおよびトマトの胚軸における青色光、UV-A および UV-B 照射によるカルコン合成酵素遺伝子ファミリーの発現解析 ○李玉花²・周波²・河野喜子¹・王宇²・河端実之¹ (1)東京大農学生命科学研究科, (2)東北林業大生命学院)</p>	<p>野 045 未熟粗大有機物由来の炭酸ガスの発生速度に及ぼす温度、および粗大有機物の種類の影響 ○古谷茂貴・渡辺慎一・大和陽一(農研機構九沖農研)</p>	<p>野 068 焼酎粕を利用した土壌病害虫防除法の開発(第2報)メロン栽培で問題となる主要土壌病害虫に対する防除効果 ○黒木尚¹・今村幸久¹・野崎克弘¹・渡司照久¹・黒木利美¹・甲斐孝憲²・上米良壽誕² (1)宮崎総農試, (2)雲海酒造(株))</p>
11:30				<p>野 023 トマト果梗部の離層形成に関わる新規遺伝子の同定 ○中野年継¹・金原淳司²・北川麻美子²・細井克敏²・廣瀬孝司²・春見隆文³・伊藤康博¹ (1)農研機構食総研, (2)カゴメ総研, (3)日本大生物資源科学部)</p>	<p>野 046 作物群落の配置が循環扇の空気が攪拌範囲に及ぼす影響 ○畔柳武司(農研機構中四農研)</p>	<p>野 069 焼酎粕を利用した土壌病害虫防除法の開発(第3報)防除効果の要因解明への取り組み① ○今村幸久¹・黒木尚¹・野崎克弘¹・上米良壽誕²・黒木利美¹・渡司照久¹・甲斐孝憲² (1)宮崎総農試, (2)雲海酒造(株))</p>

第2日 3月22日(月・祝) 10:45～11:45

G会場 74 野菜IV	H会場 41 花きI	I会場 42 花きII	J会場 31 利用I	時間
<p>栽培 (ダイコン・キャベツ) 大川 浩司</p> <p>野 088 被覆方法を異にした2月播きダイコンの生育と抽台 ○吉田俊郎・川城英夫(千葉農総研セ)</p>	<p>花 019 ダリアの白色花弁化に関する2つの異なるメカニズム ○細川宗孝¹・児島未沙¹・大野翔¹・立澤文見²・土井元章¹(¹京都大院農学研究科,²岩手大農学部)</p>	<p>花 039 ランタナ苗の生育における光色、ジベレリンおよびエテホン処理の影響 ○杉浦広幸(福島学院大)</p>	<p>利 018 薬用植物センブリ栽培の歴史と現状 ○兼子まや¹・元木悟²・柳澤一馬³・塚越寛¹・池上文雄¹・松本悦夫³・萩原保身⁴(¹千葉大環境健康フィールド科セ,²長野野菜花き試北信支場,³長野野菜花き試佐久支場,⁴長野南信農試)</p>	10:45
<p>野 089 土壌水分影響推定サブモジュールを新たに組み込んだ冬どりキャベツ生育モデル ○岡田邦彦¹・山崎敬亮²・生駒泰基³・村上健二¹(¹農研機構野菜茶研,²農研機構近中四農研,³農研機構九沖農研)</p>	<p>色・香り 中山 真義</p> <p>花 020 キンセンカの黄色・橙色の花色の決定にはカロチノイド異性化酵素 CoCRTISO1 の活性が関与している ○岸本早苗・大宮あけみ(農研機構花き研)</p>			11:00
<p>野 090 レタス後マルチトンネルを利用した4、5月どり寒玉系キャベツ品種の作型適応性 ○小林尚司・大塩哲視・西野勝・斎藤隆雄(兵庫農技総セ)</p>	<p>花 021 光質と窒素施肥量がハーブの香気ケモタイプに及ぼす影響 ○林孝洋¹・中村美奈子¹・吉岡侑美¹・中川正博¹・神崎真哉¹・宇都宮直樹¹・笹岡元信²・市ノ木宗次²・吉見孝則²・島田知浩²・富研一³・松村康生³(¹近畿大農学部,²三晃精機(株),³京都大院農学研究科)</p>			11:15
<p>野 091 積雪地における初夏どりキャベツの安定栽培技術 ○北田幹夫・沢田耕一・布目光勇(富山農総セ・園研)</p>				11:30